消防協会長表彰(葉梨会 知事表彰(橋本知事)

◎勤続三十年以上

行方市消防団

他百四十六名 副団長

は会盛大に開催される

謝辞(米川団長

(阿見町

決議(野口副会長

神栖

大生婦人防火クラブ

(常総市)

民間優良消防機関等】

小西栄造茨城県市長会副 西條昌良茨城県議会議長

◎勤続二十年以上

古河市消防団

副団長

信



葉梨会長による永年勤続功労章授与



他三後援会 米川団長 (阿見町) からの代表謝辞

の全国大会に連続三回出場 ています。) 抜け、肌寒さを感じさせる気 前回も「準優勝」に輝い

温でしたが、特設スタンドには 当日は、時より強風が吹き

から多数のご来賓並びに消防 六催による消防大会が、十月 に引き続き、午前十時五十分 一十九日、消防殉職者慰霊祭 「係者の出席のもと、県立消 茨城県と茨城県消防協会の 長〔ひたちなか市団長〕〕 万歲三唱(米川副会長(阿 見町団長」)

茨城県消防協会長表彰

【優良分団表彰】

概ね三年程度で県内全市町

平成十九年度の当協会総

(理事会・評議員会) 決議

牛久市消防団第十一分団

他三十七分団

茨城県知事表彰

【永年勤続功労章】

事例等を紹介しながら、女性 を受けて、女性消防団の活動 村に女性消防団を結成する』

N学校で開催されました。

◎勤続五十年以上 永年勤続功労章 水戸市消防本部 龍ケ崎市消防団 他一本部 他七団 功 労 章 平沢 下村 常陸太田市消防団

幹男

他五十六名

て県内女性消防団員の交流を

促すため、四回目となる女性

消防団の結成を促進し、併せ

らに終了しました。

なお、受章者は次のとおり

ひたちなか市消防団

平次

名

実施しました。

防庁消防団員確保アドバイザ

大会では、最初に総務省消

をしている静岡県裾野市消

じりなく進められ、盛会のう

大会は次の式次第のとおり

)勤続四十年以上 消防正監 松﨑 淳一 常総広域消防本部 副団長 黒澤 洋助 他 名 鹿島地方消防本部 消防司令長

青野

式辞(橋本昌茨城県知事)

長〔ひたちなか市団長〕〕 開会のことば(澤畑副会

【永年勤続消防職団員妻女】 副団長 木之内 他五十三名 博子 博道

> に「裾野市消防団の活動につ 防団本部部長の小泉秀子さん

親子消防団員 阿見町消防団 山本 みゆき 木之内 他百二十九名

消防団分団後援会】 河内町消防団後援会弐千の Ħ

平成二十二年十一月十二

四千人超の大応援団が詰めか

崎県と鹿児島県が先の口蹄疫

発生に伴う諸般の事情から出

会場は寒さを吹き飛ばす

場を辞退、愛知県が開催地と

標的が倒れるたびに歓声

第二十二回全国消防操法

下消防団)が、ポンプ車の部 れ 事「準優勝」に輝きました。 において、全国の強豪を相手 た常総市消防団(旧常総市石 大会が愛知県蒲郡市の「蒲郡 に堂々たる操法を披露し、 ートレース場」で開催さ 茨城県代表として出場し 熱気と興奮に包まれました。

じめ、県や近隣の消防団、広

本県からは、葉梨会長をは

(常総市石下消防団は、こ 進が始まり会場が沸き立ちま れぬ規律のもと堂々の入場行 午前九時、選手団の一糸乱

徹して駆け付けました。

どは大型バスを仕立て、夜を 参加があり、地元の応援団な 域消防本部関係者等、大勢の

部・二十三チーム(今回は宮 が始まり、 干三チー 午前十時、いよいよ競技 ポンプ車の部・ 小型ポンプの

1番員による第1線放水





健闘した常総市消防団の選手 (長谷川市長・沼尻団長・寺田副団長と共に)

出番となり、念願の「優勝」 ぎ、いよいよ常総市消防団の 戦を繰り広げました。 精鋭が三コースに分かれ、 昼食を挟んだ午後一時半す

熱

をあげました。

コースで持てる力を発揮しま 一つ一つを、息を呑んで見つ 日指して六名の選手達が第二 した。応援席ではその動きの におめでとうべ そして、長、 結果は、 第二線 第一線 総得点 団の皆さん、誠 六六・七二秒 五一・五六秒 こざいました。 、間本当にご苦 八〇・〇点

総得点 一八七·〇点 た、ご家族や地域、指導者、 謝申し上げます。 市当局等多くの方々に深く感 選手の皆様を支えてこられ した鳥取県江府町消防団で、 なお、この大会優勝したの 消防協会としても、長い間 常総市消防団の後に出場

活動!そして今後の課題」と 裾野市消防団は、 団員数

吉川鋭子さんからは「団員の 意見発表をしていただきまし

消防団結成促進大会を十一月

一十四日、県庁九階の講堂で

も実施しているそうです。 めて女性消防団員を採用し、 催や一人暮らし高齢者宅の防 小泉部長は発足時からの女性 んから「発足から現在までの 太田市消防団の青砥真奈美さ ンプや消火栓の取扱訓練など 火訪問が中心ですが、可搬ポ 活動は、普通救命講習会の開 団員だそうです。女性団員の 一十人)で、平成八年四月に初 一百四十人(うち女性団員 次に意見発表として、常陸

野奉子班長、アドバイザーは

ただい 参加をい の活動の 結果、女 した。 図ること て、大い が出来ま に交流を これら 治結成



意見交換会で(橋本知事と共に)

で女性消防団結成当初から、

10・11月号

発 行 所 水戸市千波町1918番地

茨城県総合福祉会館内 財団法人茨城県消防協会

編集発行人 消防協会長 葉 梨

印刷所

富士オフセット印刷(株) (1部 15円)

スカッションを行いました。 現在分団長として活動されて ために」と題し、パネルディ 最後に「共に守る!明日の

結成

パネラーには、団長歴六年で ない人はいない東京都赤羽消 闘中の龍ケ崎市消防団・信田 目下女性消防団結成に向け奮 防団副団長の小澤浩子さん、 本県女性消防団員の中で知ら コーディネーターには勿論、

珂市消防団・後藤京子部長、 子班長、同じく団歴二年の那 消防団・飛田和義団長、団歴 出場に意欲を燃やす北茨城市 来年度全国女性消防操法大会 最大の女性消防団員数を誇り 東男団長、団長歴三年で県下 一年の笠間市消防団・米川容

います。 き、栗田生活環境部長等の県 やその効果、苦労話など、小 どにもご 幹部や小泉講師、 た意見交換会でした。 ストランに移し、 さ、また、結成後の活動内容 成にあたっての課題や難し しが聞け、参考になったと思 澤さんの巧みなリードでお話 第二部は、 **意見交換会では、お忙しい** 橋本知事にご出席いただ 会場を二階のレ

時間にわたり女性消防団結

ております。

この大会の成果 を参考に、今後の 女性消防団活動が 充実発展されるこ 状況は、十月現在 で三十二の消防団 に設置され、更に 二十三年四月にも いくつかの消防団



パネルディスカッションの様子

消防殉職者の慰霊祭が、平成

在地に建立され、毎年秋に一 年に消防人揺籃の地である現

消防協会主催で慰霊祭を

西條昌良茨城県議会議長

小西栄造茨城県市長会副

橋本昌知事

開会のことば(澤畑副会

長〔ひたちなか市団長〕〕

田中輝夫日本消防協会福

閉会のことば(米川副会

長 (阿見町団長))

祭主挨拶(葉梨会長)

花輪献上(葉梨会長

茨城県消防協会主催による

一十二年十月二十九日(金)

宝

元 境町消防団 団長 消防歴 四十一年 **%島郡境町蛇池在住** 章。安义 双光

元 水戸市消防本部 東茨城郡城里町上入野在住 一郎(七十)

元 常陸太田市消防団 宝単 正雄(八十四) 光

秋 0) 叙

元つくば市消防団 實(七十七)

小

綬

章

消防歴 五十二年 つくば市杉木在住

消防歴 五十一年二月 元 鉾田市消防団 団長 藤衛(七十二))岩間 輝豆 (七十三))宇佐美敬(八十二) 元 常澄村消防団 分団長 消防歴 四十四年一月 消防歴 四十二年十一月 元 高萩市消防団 副団長 水戸市六反田町在住 局萩市東本町在住

消防歴 三十一年五月 元 玉里村消防団 団長 小美玉市栗又四ケ在住

平成二十二年秋の叙勲・褒

消

防

月十日(日本青年館)、危険 日(日比谷公会堂)、秋の褒 業務従事者叙勲が十一月十二 伝達式は、秋の叙勲が十一

〇永井一郎衛門(六十九) 祭いいるのであり、 那珂市中台在住

消防歴 三十八年

元 那珂市消防団

危険業務従事者叙勲

〇助工 嘉一 (七十二) 土浦市田村町在住

元 取手市 消防監

元 鹿島南部 消防監

消防歴 四十一年五日

消防歴 三十六年八月

元 友部町消防団 団長 消防歴 三十六年三月

忠(七十二)

双光

章

消防歴 三十七年

〇田口 **直文**(六十八) たくま 籍家 たくま 籍家

元 稲敷広域 消防監

消防歴 三十九年十一月

元 笠間広域 消防監

消防歴 三十六年六月

消防正

笠間市友部駅前在住

勤(七十三)

日立市日高町在住

消防歴 三十九年五

○中山 保(六十五) 坂東市岩井在住

渡辺 稔 (七十一)

毘嶋市武井釜在住

元 筑西広域 消防正監

つくば市小山在住

惣部

年十月

消防歴 三十六年二月 元 茨城西南 消防監

消防歴 三十八年三月 元 鹿島南部 消防司令長 元 日立市 消防監

消防歴 三十九年五月

消防監

○川崎 由夫(七十一) 取手市野々并在住

城

章受章者が十一月三日に総務

省から発令されました。

いて拝謁も執り行われまし ル麹町)、それぞれ実施され、 同日の午後には、皇居内にお 章が十一月十一日(スクワー 一※()は発令日現在の年齢 略歴等をご紹介します。 からの感謝と敬意を表しま るご尽力とご功績に対し、 以下、順不同にて受章者の 受章者の皆様の永年にわた

事者叙勲が十三名、藍綬褒章

十三名、第十五回危険業務従

本県からは、秋の叙勲が

が一名、合計二十七名の皆様

が受章の栄に浴されました。



秋の叙勲伝達式(11/10)



危険業務従事者叙勲伝達式 (11/12)



藍綬褒章を受章した 二重作消防団長

今年の漢字は 編 集 後 記

ども人里に出没し、生活・環に伴う野菜価格の高騰、熊なに伴う野菜価格の高騰、熊な たらしたことや 「暑」でした。

境に影響をも

したいものです。

現 鉾田市消防団(云十二) 時世ですが、 どが選ばれた理由でした。 ら作業員全員が無事生還した 盤事故で地中の「暑い」中か南米チリ鉱山のトンネル内落 抱き来年こそは 「暑さ」に耐え、無事帰還し 経済の低迷や雇用不安な 「はやぶさ」など、勇気と 将来に期待を持てないご 突入温度一万度という 僅かでも希望を 年に な

10mから50mモリタの梯子車 モリタの技術と設備は20種類以上の消

防防災、 総ての車を造ります 完全水冷ラジエータ式、強制空 冷式シバウラ小型消防ポンプ

SFシリーズ、TFシリーズ独特の2 本立で総ての機能を具えております。

消防・防災用品全般、火の見櫓 撤去・移設、ホスポール建立

茨城県代理店

鈴

石岡市国府5-2-25 TEL.0299(22)3010 FAX.0299(22)5846

平成22年度 茨城県消防殉職者慰霊祭

偲び厳粛に執り行われ 回新たに合祀された茨 など多数の来賓及び県内の消 族をはじめ茨城県の橋本知事 職員之碑」の前において、遺 何防職員 (三柱)を併 立されている「殉職消防団員 れまでの殉職者と今 **職団員等が参列し、** 時から、県立消防学校に建 七十八柱の功績を

之碑」は、昭和五十七 「殉職消防団員職員

葉梨会長の祭主挨拶



元 五霞村消防団

副団長

那珂郡東海村豊岡在住 消防歴 二十九年四月

消防歴 四十八年八月

元 日立市消防団

日立市大和田町在住

消防歴 三十四年四月

消防歴 三十八年六月

笠間市福田在住

英穗(六十六)

元 笠間広域 消防監

智(六十七)

剛(七十四)

猿島郡五霞町小手指在住 消防歴 三十二年

橋本知事の追悼の言葉



小竹泰子様ほか(元茨城 **替圭子様**

花輪を献上する葉梨会長と針替圭子様

立消防学

会長の来賓祝辞(鈴木専務理 防災課長)、続いて県消防協 消防本部から総勢三十九名の (支)、知事告辞(遠藤県消防 **曇に続き、式辞(岩島学校** 假学校において、

県内十一 主を迎え挙行されました。 式典は、入校生紹介、学生

おいて先輩方から指導を受け てこられた学生諸君ですが 既に半年間、各消防本部に

学生宣誓をする水戸市消防本部の 仲根雄一郎消防士

月六日(水)午前十時から県立 期(第九十期)の入校式が、十 科生が巣立った後を受け、後 ため、前期(第八十九期)初任 は五年ぶりに二期制となった 今年度の消防職員初任教育 立っていくことを祈念しま わしい消防の担い手として巣 技能を習得し、新時代にふさ 間、消防学校で心身の鍛錬と 初心に返り、これからの半年



V75ESからV10Fまで 豊富な機種でお客さまのご要望に お応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース 消火器 消防服装 消防資機材用品一式

茨城県代理店 -キワ産業株式会社

水戸市東原3-6-24 TEL.029 (224) 3324(代) FAX.029 (224) 3360

Panasonic

自動火災報知設備 非常電源設備 自家発電設備 CVCF設備 FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店

株式会社入江電機工業所

∞310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号 最310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号 TEL.029-224-4614(代表) FAX.029-224-4613最310-0851 水戸市千波町海道付2027番地 TEL.029-241-3636(代表) 千波営業所

FAX.029-244-0540 〒300-0061 土浦市並木1丁目2番20号 TEL.029-821-8498 (代表) 土浦営業所 FAX.029-822-6575